

特集

竜巻発生

◆市長メッセージ

9月4日(水)午後12時56分ごろ、過去に例のない竜巻により、市内の一部地域において建物損壊、窓ガラスの破損、塀の倒壊や停電が発生しました。

被災された皆さまには、心からお見舞いを申し上げます。

市においても、同日13時30分に災害対策本部を設置し、災害状況の調査、把握、瓦礫がれきの片付けなどの対応に当たり、被災された方への支援と災害復旧に向けて、取り組んでいるところであります。

また、この災害に際して、多くのボランティアの皆さんをはじめ、高萩市や姉妹都市の笠間市、また災害協定を結んでいる方々など多くの皆さまのご支援をいただきまして厚くお礼申し上げます。

災害は、いつ発生するかわかりません。市民の皆さまにおかれましても、常日ごろからの災害に対する心がけを再確認されますとともに、ご家族間において災害発生時の連絡方法や集場所を決めておくなどの話し合いを密にしています。皆さまようお願い申し上げます。

結びに、市としては、一日も早い復旧に向けて職員一丸となって努力して参りますので、市民の皆様におかれましても、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

矢板市長 遠藤 忠

9月4日(水)12時56分 竜巻発生!

「あつという間」に市内を駆け抜けた。

ゴオーという音とともに、市内を駆け抜けた竜巻。幅200mの風の渦が、川崎反町地区から荒井地区までの約3.5kmに渡り市内を通りぬけた。まさしく「あつという間」の出来事だった。ちょうど2日前に埼玉県、茨城県を竜巻が襲い、多くの被害をもたらしたばかり。みな口々に言う。「まさか、矢板市でも発生するとは・・・。」その日は、上空に冷たい低気圧があり、そこに湿った空気が流れ込んでくる気圧配置だった。気象庁は、12時47分に竜巻注意報を発表したばかりだった。市内には、厚く黒い積乱雲が発生し、強い雨が降り、強い風が吹いていた。いつ発生してもおかしくない状況の中で、過去に例を見ない竜巻は発生した。県下でも、竜巻は、矢板市内のみならず、鹿沼市、塩谷町でも発生し、多くの被害をもたらした。左に今回発生直後の写真と被害状況をまとめた。

被災した方の声
川崎反町地区の石塚さんは、「あつという間の出来事でもなにも対処できなかった。昔から、この地区ではドウギ山(川崎城跡のとなり)に雲がかかる、三杯飯を食べる前に雨が降ってくるという言葉も聞かされた。まさしく、川崎から発生し、あつという間だった。」と話してくれた。
同地区の鈴木さんは、「気が付いたときには、直撃していた。その後、テレビを見た仲間から電話やメールが沢山きて励みになった。また、すぐさま友人たちが、片づけを手伝ってくれて涙が出るほどうれしかった。」と話してくれた。
気象庁の方の話では、「雷の発生しやすいところには、竜巻も発生しやすい。」と言う。
栃木県は、雷が多く発生する県として知られている。今後いつ発生するのかわからない竜巻。今回の教訓を活かして次に備えなければいけない。

- 《経過》
- 9月4日(水)
 - 12:56 竜巻発生
 - 13:05 被害状況調査開始
市内から多くの被害が報告される
 - 13:30 矢板市災害対策本部設置
 - 14:00 記者会見
 - 15:10 被害状況報告第1報 その後第4報まで
 - 16:30 矢板市災害対策本部会議
 - 17:30 記者会見
 - 18:30 被害状況報告(4日現在 被害件数集計報告)
 - 21:00 茨城県高萩市からブルーシート150枚が届く
 - 9月5日(木)
 - 9:00 矢板市災害対策本部会議
 - 9:45 記者会見
 - 10:00 市職員53人による現地調査開始
 - 10:30 市長、副市長現地調査
 - 9月6日(金)
 - 10:00 市議会全員協議会にて被害状況報告
 - 16:00 内閣府職員来庁および現地調査(職員2人)
 - 9月11日(水)
 - 17:00 矢板市災害対策本部会議(本部解散)



■矢板市の竜巻被害状況 (9月18日現在)

◆風の強さ F1※ (屋根瓦が飛び、ガラス窓が割れる。ビニールハウスの被害甚大。根の弱い木は倒れ、強い木は幹が折れたりする。走っている自動車が横風を受けると、道から吹き落とされる。)	◆建物などの被害	◆農作物などの被害
◆負傷者(軽傷) 2人	トタン破損 23棟	水稻
◆倒木 14本	瓦破損 19棟	全倒伏 19筆 24,519㎡
◆避難勧告 0世帯	窓ガラス破損 10棟	半倒伏 16筆 5,800㎡
◆死亡者 0人	外壁破損 6棟	合計 35筆 30,319㎡
◆車両被害 34台	小屋・車庫など 23棟	そば 茎折れ、なびき、異物飛来がある圃場 11筆 10,155㎡
◆避難者数 0人	合計 81棟	パイプハウス 3棟

※藤田スケール…被害の大きさから竜巻を強度別に分類する等級。F0～F6まである。

◆り災証明書の発行について

災害によって家屋などが破損した場合、市職員が被害状況を確認し、「り災証明書」を発行します。り災証明書は、家屋、蔵などの、り災程度（全壊、半壊、一部損壊）の内容を証明するものです。保険金の請求や各種支援・救済措置などの手続きの際に提出を求められることがありますので、必要な方は早めの申請をお願いします。

【り災証明書の対象となる建物】

- ・住家 ・貸家、アパート ・店舗、工場
 - ・蔵、倉庫 ・塀
- ※自動車、カーポート、仮設プレハブは、り災証明書の対象にはなりませんので、ご了承ください。

申請・問い合わせ／総務課 防災管財班 ☎(43)1113

◆災害やその前兆を発見した時は

今回の竜巻は、発生から消滅までの時間が短かったことから、事後の対応となってしまいました。しかし、今後発生するかもしれない竜巻や土砂災害の前兆、堤防の決壊などについては、事前に情報を察知できれば、来年度の完成に向けて整備している防災行政無線やメールで皆さまに情報をお伝えしていきます。

危険な状態を発見した場合は、情報をお寄せください。
問い合わせ／総務課 防災管財班 ☎(43)1113



◆「矢板市メール配信サービス」への登録について

市では、災害時に有効な情報伝達手段となるメール配信を行っており、パソコンまたは携帯電話から以下の手続きで登録できます。

なお、提供される情報は登録者全員に災害情報、希望により新着情報、イベント情報となります。

詳しくは登録サイトにてご確認ください。

次のいずれかの方法で、携帯サイトにアクセスしてください。

- ①下記のURLを直接入力する
<http://mobile.city.yaita.tochigi.jp/>
- ②2次元バーコード（QRコード）の読み込み後、携帯サイトにアクセスする。



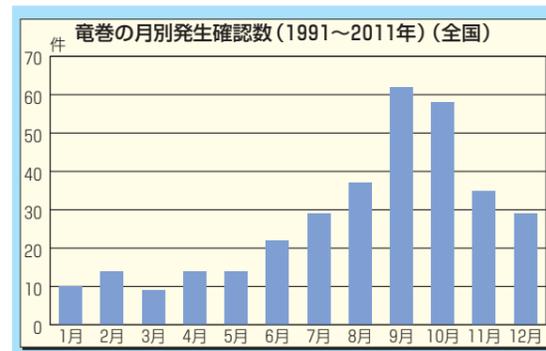
「登録・変更について」をクリックして、何も書かずにそのままメールを送信します。

返信メール受信後に、本文中にあるURLにアクセスし、画面の案内に従って登録してください。

問い合わせ／総務課 防災管財班 ☎(43)1113

◆9月、10月に多く発生する竜巻

気象庁のデータを見ると、竜巻は、台風シーズンの9月、10月に発生が多く確認されています。特に沿岸部で発生が多く確認されていますが、季節や場所を問わず、日本中で発生する可能性があります。寒冷前線、低気圧など気象の変化が大きい場合はご注意ください。



(気象庁ホームページより)

竜巻から身を守るために

竜巻は、積雲や積乱雲にともない発生して、大気中の渦巻きが地上に達しているものです。今回の被害のように、竜巻が発生した場合、住家の屋根がはぎとられる、大木が倒れるなど、大きな被害をもたらすことがあります。「い

つ」「どこで」発生するのが、予測困難な気象現象です。真っ黒い雲が近づくなど天気の変異を感じた時、竜巻注意情報などの情報を得た時は、次のことを参考にして、自分自身の身を守る行動をとってください。

◆竜巻などの激しい突風に関する気象情報

竜巻などの激しい突風が発生する可能性がある場合に、「気象庁」から次のような情報が発表されます。

栃木県竜巻注意情報 第〇号
平成〇〇年9月1日16時45分 △△地方気象台発表

栃木県は、竜巻などの激しい突風が発生しやすい気象状況になっています。空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。

この情報は、1日19時10分まで有効です。

(気象庁ホームページより)

・予告的な気象情報発表

(竜巻発生の日から1日前)

低気圧の発達などにより災害に結びつく気象現象が予想される場合、「竜巻などの激しい突風」などと明記して注意を呼びかけます。

・雷注意報発表

(竜巻発生の数時間前)

積乱雲に伴う激しい現象（落雷、ひょう、急な強い雨、突風など）の発生により被害が予想される場合、雷注意報が発表されます。このとき、竜巻などの激しい突風の発生が予想される場合には、注意報本文の付加事項に「竜巻」と明記して注意を呼びかけます。

・竜巻注意情報発表

(竜巻発生の日から1時間前)

竜巻などの激しい突風が発生しやすい気象状況になったと判断されたときに、竜巻注意情報が発表されます。この情報は、今まさに竜巻の発生しやすい気象状況になっていることをお知らせするものです。

◆竜巻注意情報の発表に際してとるべき行動

竜巻注意情報が発表されたら、まず空(そら)の状態に注意を払い、積乱雲が近づく兆しを察知した場合には、できるだけ次のような行動をとってください。

屋内にいるときは…

シャッター、窓、カーテンを閉め、窓から離れる。

2階建て以上の住宅では、1階の窓のない部屋に移動する。できるだけ家の中心部に近い窓のない部屋に移動する。

丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。



屋外にいるときは…

近くの頑丈な建物に避難する。

そのような建物がなければ、飛散物から身を守るような物陰に入って身を小さくして頭を守る。

倒壊する可能性があるため、電柱、太い樹木に近づかない。

物置、車庫、プレハブ(仮設建物)に避難しない。



矢板市立図書館イメージキャラクター「ごうくん」と「りんちゃん」